

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2014-07-25

APM news 107

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館(旧北越銀行宮内支店)

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2014年7月号 vol.162

多摩美術大学大学院グラフィックデザイン領域
イラストレーションスタディーズ修了制作展2014



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

秋山孝長岡コレクション 145

長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長
1952年長岡市生まれ。上船小学校、宮内中学校、長岡商業高等学校、多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞する。他、各国のビエンナーレにおいて多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランドで国際ポスター展の審査員として招聘される。著書に「Chinese Posters」(朝日新聞出版)、「イラストレーションスタディーズ」(玄光社)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡
<http://apm-nagaoka.com/>



多摩美術大学大学院の院生を指導してから14年目をむかえた。その成果を発表するための学外展で今回で16回目となる。近年は、青山にあるGallery5610で継続的に開催している。日程は、2014年3月2日から8日の間だ。初日は、イラストレーションスタディーズ・トークショー「模倣について考える」を企画し討論をした。表現を模索していくプロセスにおいて必ず通らなければならないテーマだからこそ、再確認と再認識することを目指した。今回の告知ポスターデザインは、レンブラントの「放蕩息子の帰宅」をイメージイラストレーションを描いた。創作の旅は苦難の道だ。人生の儚さも理解するし、夢の中に落ち込むこともある。そして、孤独な一人旅であることは間違いない。

[Title] ----- 多摩美術大学大学院グラフィックデザイン領域
イラストレーションスタディーズ修了制作展2014
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] --- Offset printing
[Date] ----- 2014
[Client] ----- 多摩美術大学イラストレーションスタディーズ
[Category] ---- 教育
[Idea] ----- レンブラントの「放蕩息子の帰宅」をイメージした。創作の旅は苦難の道だ。人生の儚さも理解するし、夢の中に落ち込むこともある。そして、孤独な一人旅であることは間違いない。



(上) 修了制作展2014/トークショー「模倣について考える」
(下) 修了制作展2014/集合写真



APM開館5周年記念
「秋山孝ポスター展6」
7月13日(日)～9月22日(月) 秋山孝ポスター美術館長岡
Tel. Fax : 0258-39-1233 E-mail : info@apm-nagaoka.com

OPEN